

平成 17 年漁期 イカナゴ（シンコ）漁況予報

1 季節風（日平均風速）

1 2 月上・中旬は西よりの風が、平年よりも弱く推移し、12 月下旬・1 月上旬は平年並みで推移した。1 月中旬は平年より強めであったが、下旬になると再び平年よりも弱く推移した。2 月上旬は平年より強めに推移している(図 1)。

*** 季節風（特に西風成分）の強弱は、備讃瀬戸から播磨灘に運ばれるイカナゴ稚仔魚の量を左右し、風の強い方が分散が良く、生残が良くなる傾向がある。**

2 水温

屋島（備讃瀬戸）では、11 月中旬から 1 月末にかけて、平年より 0.5～2.5℃高めに推移した。特に 12 月中・下旬は平年より 2℃以上高く推移し、1 月中旬から 1 月末にかけては平年より 0.5～1.0℃高めで推移した。2 月に入ると寒波の影響で水温が低下し平年並みとなった。(図 2)。

なお、イカナゴの産卵盛期の水温とされる 14～12℃になったのは、平成 16 年 12 月 27 日 (13.95℃)～平成 17 年 1 月 6 日 (12.09℃) で平年 (12 月 10 日頃～12 月 25 日頃) より 2 週間程度も遅く推移した。

*** 水温はイカナゴ親魚の産卵時期や孵化後の仔魚に影響を与える。**

3 稚仔魚の出現状況

1 月の前半 (6,14 日)、後半 (21,22 日) と 2 月の前半 (4,8 日) にわたり、備讃瀬戸および播磨灘の 23 点で、丸特 B ネット (口径 45 c m) の鉛直曳きによる調査を実施した。調査地点ごとの稚仔魚の採集尾数を前年 (平成 16 年) の結果と対比して示した (図 3)。なお、播磨灘の 2 点は過去の蓄積データが少ないため、稚仔数の評価については、残り 21 点を対象に行った。

1 月前半調査では、稚仔魚の合計採集数が 4 尾 (備讃瀬戸 0 尾、播磨灘 4 尾) で昨年同期 (78 尾) の 5%、平年 (85 尾) の 5% とともに大きく下回っていたが、1 月後半調査では合計採集尾数は 178 尾 (備讃瀬戸 94 尾、播磨灘 84 尾) で昨年同期 (69 尾) の 2.6 倍となっており、備讃瀬戸および播磨灘での採集尾数はともに昨年を上回っていた。

一方 2 月前半調査では、稚仔魚の合計採集数は 17 尾 (備讃瀬戸 1 尾、播磨灘 16 尾) で、昨年同時期 (9 尾) は上回ったものの、平年 (58 尾) の 29% とかなり少なめであった。

また 1 月前半と 2 月前半の 2 回を合計すると 21 尾で、昨年 (87 尾) の 24%、平年 (143 尾) の 15% と非常に少ない採集量であった (図 4)。

稚仔魚の大きさ (平均全長) については、1 月前半に備讃瀬戸で採集された稚仔魚 (1 尾) の全長は 5.1mm、播磨灘で採集された稚仔魚 (4 尾) の平均全長は 4.4mm で、播磨灘では昨年同時期と同じであった。1 月後半に備讃瀬戸で採集された稚仔魚 (99 尾) の平均全長は 4.3mm、播磨灘で採集された稚仔魚 (85 尾) の平均全長は 4.7mm で、昨年同時期と比較して備讃瀬戸ではほぼ同じであったが播磨灘では小さくなっている。また 2 月前半に備讃瀬戸で採集された仔魚 (1 尾) の全長は 8.8mm、播磨灘で採集された稚仔魚 (23 尾) の平均全長は 6.9mm で、昨年同時期と比較して播磨灘ではやや大きくなっている (図 5)。

今期は 11 月以降水温が高めに推移し、イカナゴの産卵盛期となる水温となるのが平年よりも 2 週間程度遅かったため、産卵盛期は 12 月末頃であったと思われる。このため、1 月前半のイカナゴ稚仔魚の採集数は昨年より少なかったと考えられる。1 月後半と 2 月前半の稚仔魚採集数は昨年よりも多

かったものの2月前半の備讃瀬戸の採集数は昨年より少なかった(平年よりもかなり少なかった)が、これは2月上旬の強い西風によって稚仔魚の分散が進んだためと考えられる。

4 2月上旬までのイカナゴ(親魚)の漁獲状況

高松 1月22日から込網漁を開始した。1月末までの漁獲量は6.6トン(延べ11隻)、1日1隻あたりの漁獲量は0.6トンで、昨年同期と比べると、漁獲量は20%、1日1隻あたりの漁獲量は48%となっている。

なお、2月4日に入手したイカナゴ標本の平均全長は126mmで、昨年(1月26日の標本)の103mmよりも大きい。

庵治 2月8日から操業を開始した。

5 イカナゴ(シンコ)の漁況予測

産卵期の水温が高めに推移したことから稚仔の発生は遅かったものの1月下旬および2月上旬の稚仔の分布状況が昨年よりも比較的良好であることから、本年のイカナゴ(シンコ)の漁獲量は、極端な不漁であった昨年は上回るものの平年(H3~H14)を下回るであろうと予想される。

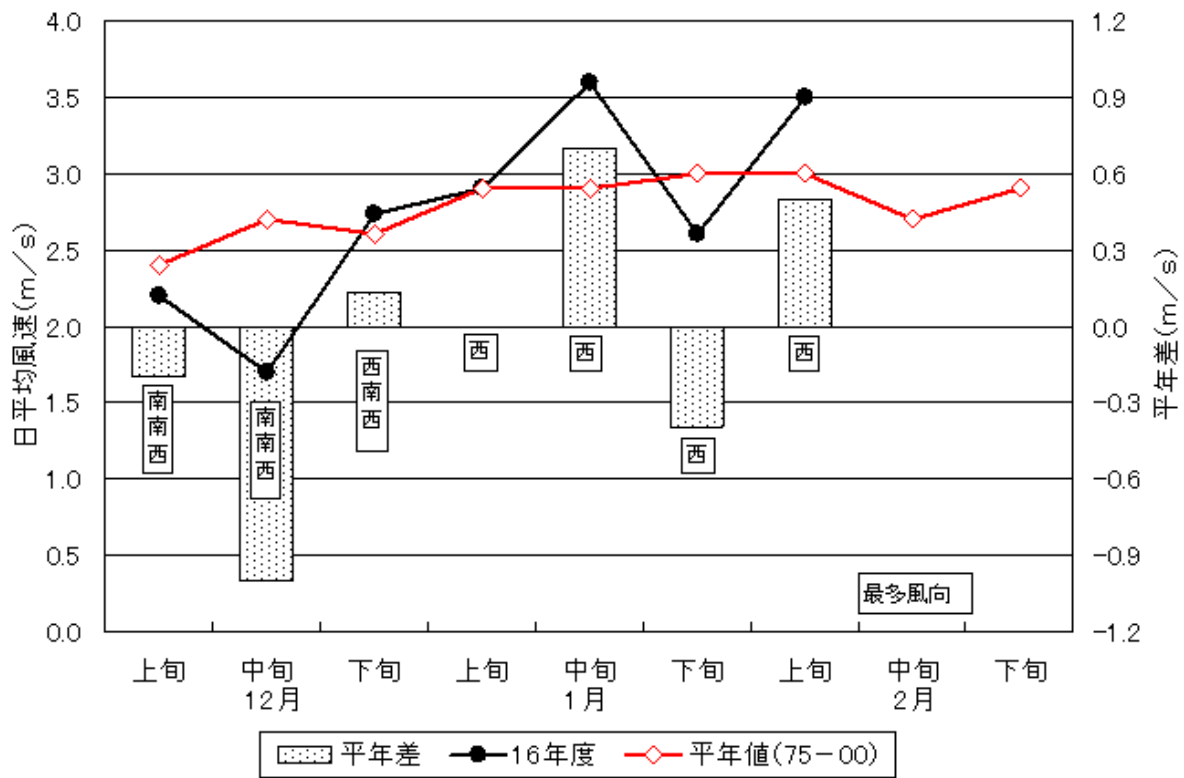


図1 日平均風速の推移(高松气象台発表)

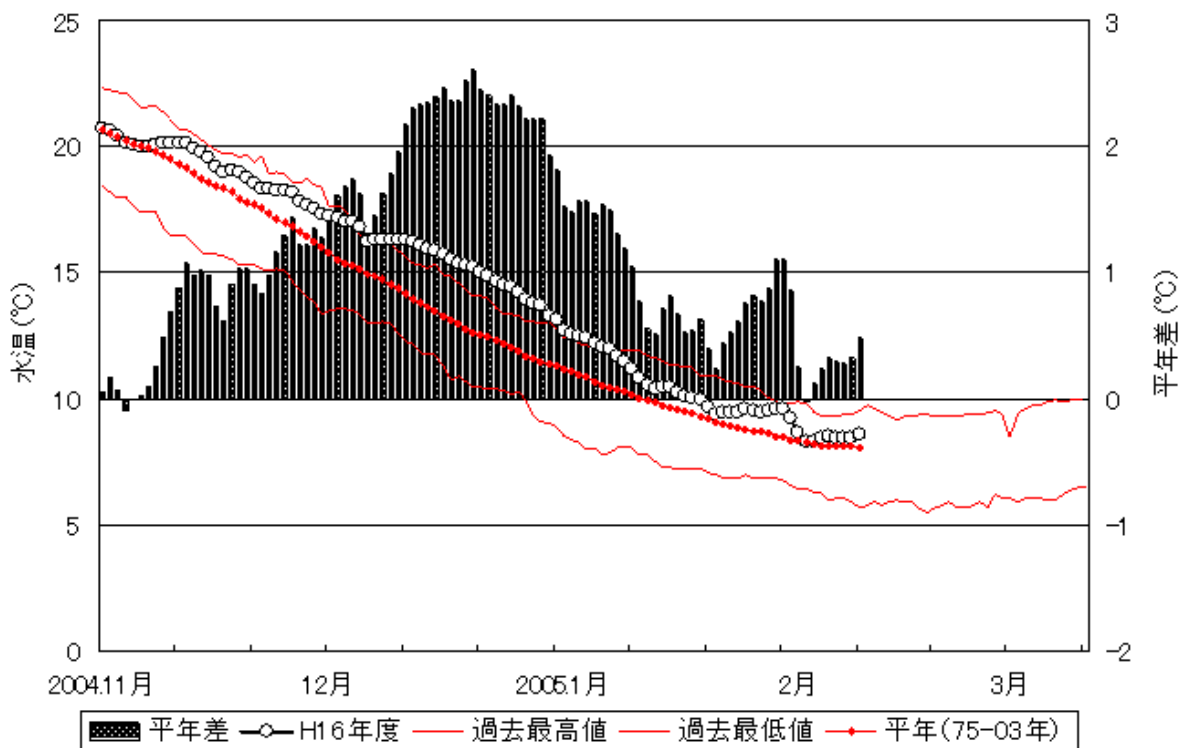


図2 平成16年度屋島湾の水温変化(水深1m)

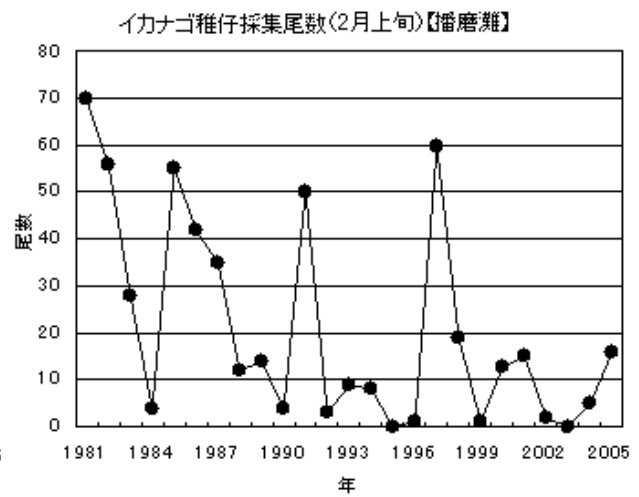
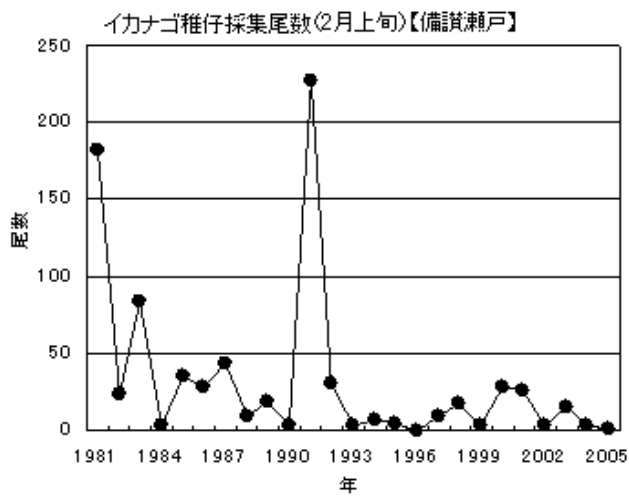
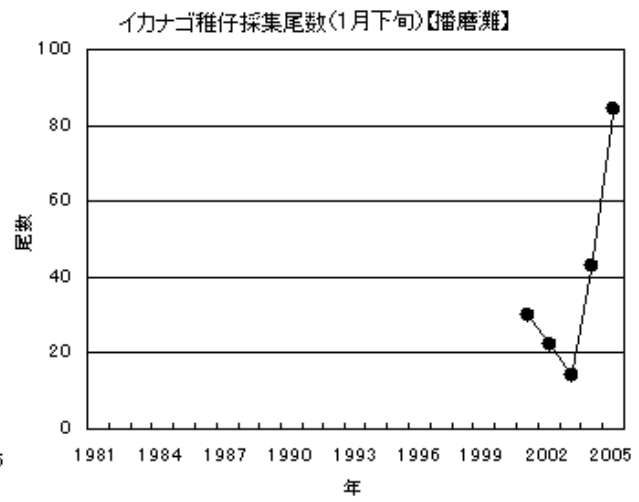
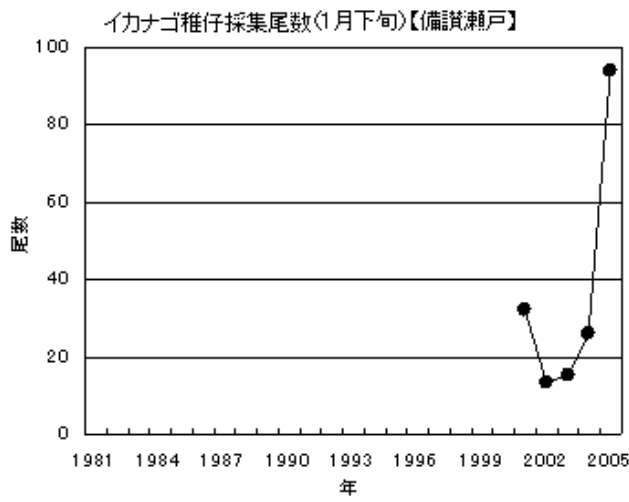
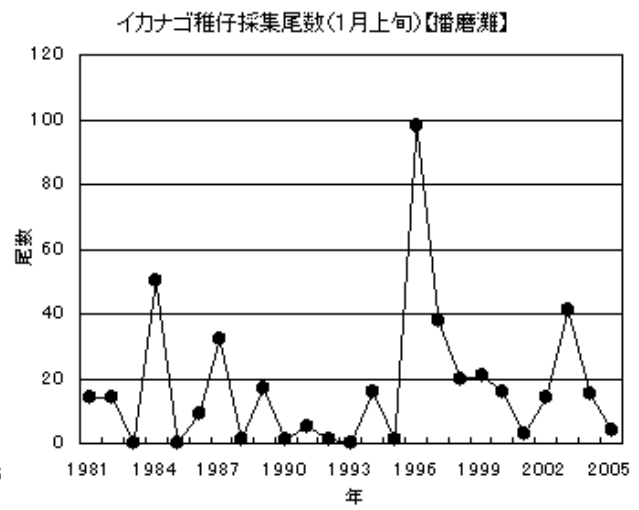
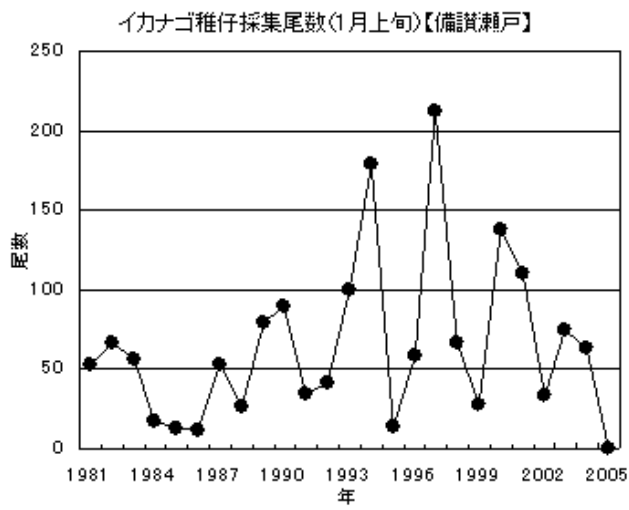


図4 イカナゴ稚仔採集尾数の推移(丸特Bネットによる鉛直曳)